

「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」の締結について

府県を越えて隣り合う、西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市の4市。全国で唯一4つの中核市が隣り合うことから、この圏域を4市の頭文字を西から東に順番に並べて「NATS（ナッツ）」と表現しています。4市を合わせた人口は約172万人と、神戸市（約152万人）や京都市（約141万人）を上回ります。

NATSの4市は、府県の枠組みを越えた新たな都市間ネットワークを形成し、市民サービスの向上や各市が抱える課題の解決に向け、連携して取り組んでいくことをめざしており、今般、喫緊の課題である地球温暖化問題を解決するため、府県を超えて広域的に施策を展開し、持続可能な社会を実現するため、別紙1のとおり基本協定を締結しました。

また、協定の締結にあわせて、NATSで今後取り組む共同事業についても発表しました。共同事業は別紙2のとおりです。

NATSは相互に連携を図ることで、地球温暖化問題の解決及び地域社会の持続的な発展に寄与してまいります。



地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定（写）

喫緊の課題である地球温暖化問題を解決するためには、市民・事業者・自治体が「自分事」としてこの状況を深く受け止め、ライフスタイルや事業活動の転換を図ることが必要不可欠であり、自治体は効果的な対策をすみやかに実行することが求められる。これを受け、隣接する4つの中核市は、府県を超えて広域的に施策を展開し、持続可能な社会を実現するため、次のとおり連携に関する基本協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、各自治体が相互に連携を図ることで、地球温暖化問題の解決及び地域社会の持続的な発展に寄与することを目的とする。

（連携する事項）

第2条 各自治体は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を連携して実施する。

- (1) 広域的に実施することが効果的な施策及び事業
- (2) 各自治体が所有する情報、資源や機能等の共有及び活用

（その他）

第3条 本協定に定めのない事項については、各自治体が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書4通を作成し、記名の上、各自1通を所持する。

令和3年（2021年）7月29日

西宮市長

尼崎市長

豊中市長

吹田市長

地球温暖化対策の自治体間連携



共同事業



再生可能エネルギー導入促進に向けた取り組み

- ・ 更なる再生可能エネルギーの導入促進



プラスチックごみ削減・熱中症対策

- ・ 給水スポットの普及促進
- ・ 傘シェアリングサービスの導入促進
- ・ バイオマスプラスチック製ごみ袋を活用した啓発活動



広域連携を活用した環境啓発

- ・ 環境啓発の連携
- ・ 地球温暖化啓発動画の作成

